

一般会計予算に対する討論

令和6年度一般会計予算は、3月定例会最終日に可決しました。この議決に先立ち、同予算に対する討論が行われ、4人の議員から賛成意見が、2人の議員から反対意見がありました。その概要は次のとおりです。

賛成

●市長が施政方針で掲げる、3つの基本方針に沿って意見を述べる。「育てる」の、産後ケアの充実では、従来の訪問型に加え、母子の宿泊型、デイサービス型の支援の実施により、保護者に安心して制度を利用してもらえるように周知し、ニーズを捉えながら、さらなる制度充実に期待する。

●令和6年度予算は、脱炭素社会の実現に向けた温室効果ガスの削減や、市民サービスを維持するための自治体DXの取り組みなど、将来を見据え、持続可能な行政運営を目指しているものと評価する。

基本方針の「育てる」の不登校及び不登校傾向の児童・生徒への支援では、教員の負担軽減が図られ、不登校支援員の全校配置や校内教育支援教室の整備など、子どもの課題に寄り添う支援と考える。不登校のきっかけとなる勉強が分らないという課題に、オンライン学習教材の導入など、丁寧な対応を期待する。

「稼ぐ」のデザイン力を活用した新商品開発等のブランドイング支援は、魅力的な商品の製作と既存製品のブラッシュアップにより、市内消費につながる取り組みを期待する。光綾公園は、南側の整備を着実に進め、ローズガーデンは、有料化自体の再検討も必要と考える。道の駅整備は、関係団体としっかり調整し、地域振興に係る事業を見極めた上で必要な施設規模を決定し、事業の生産性を持続的に確保する管理体制を目指すため、経営的側面を含め、収益を見込むことができる施設の検討を望む。「支える」では、市内住宅における脱炭素社会実現に向けて、新築、大規模修繕の際のエネルギー収支をゼロ以下にする家(ZEH)に係る費用を補助することは、市民の脱炭素化への行動の後押しとなり、温暖化防止へ向けての行動となることを期待する。

少子・高齢化が進む中で、経済

源物収集所運用委託事業は、

令和6年度各会計の予算規模

会 計 名		令和6年度	対前年度比	
			増減額	増減率
一 般 会 計		323億4,000万円	6億1,000万円	1.9%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	83億7,500万円	△2億7,800万円	△3.2%
	介 護 保 険 事 業	69億4,700万円	6億2,100万円	9.8%
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	16億4,500万円	1億2,900万円	8.5%
	小 計	169億6,700万円	4億7,200万円	2.9%

公 営 企 業 会 計		令和6年度	対前年度比	
			増減額	増減率
収 益 的 収 入		28億1,071万円	5,916万円	2.2%
収 益 的 支 出		24億6,079万円	9,847万円	4.2%
資 本 的 収 入		4億3,186万円	△19億1,945万円	△81.6%
資 本 的 支 出		12億2,072万円	△19億2,715万円	△61.2%

表中の△はマイナスを表しています。

高く評価するが、ごみの片づけなどを見回る必要性を感じるため、地域でトラブルとならないよう業務を遂行するよう要望し、本予算に賛成する。

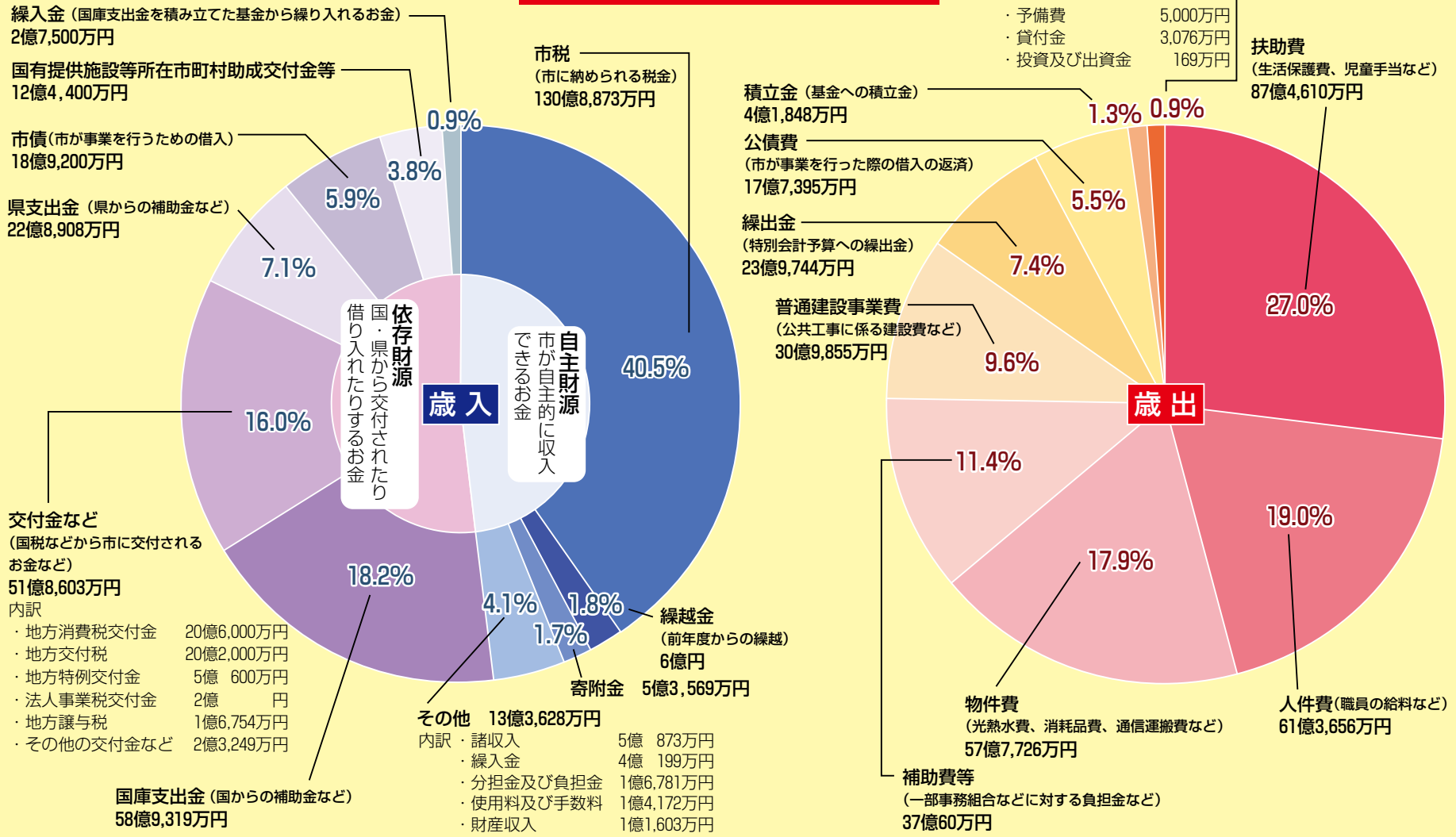
(あやせ未来会議)

●市長は施政方針で、「先見」「先進」の2つの意味を込めた「先」という言葉を念頭に、本市の未来を見据えた施策を進めていきたいと述べた。貧困の連鎖を断ち切るための取り組みは、生活困窮世帯やひとり親家庭に対する補助や助成により、経済的に支援を必要とする世帯の異なる年齢層の子どもたちに、重層的、継続的に支援を行うことで綾瀬の子どもたちが未来に希望を持てるよう、必要な支援の実施を望む。地域産業の活性化に関する取り組みは、オンラインワ

を増やし、環境に配慮した経営を行う企業が求められている。専門家からのデザインプロデュースによる伴奏型支援や、魅力ある店舗への改装費用の助成により、トレンドに沿った方向へと本市の事業者を導き、今後の市内産業の発展を見据えたものと評価する。市民の健康に関する取り組みは、带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成制度を整えたことを高く評価する。事業周知と接種促進を図ることを望む。行政に求められる需要が年々多様化、複雑化する中、限られた財源を最大限に活用し、今必要な施策を考えて編成された予算であり、いづれの事業も本市の未来に向けた投資として、持続可能な成長、発展に結びつくものと期待し、本予算に賛成する。

(公明党)

一般会計予算歳入・歳出の状況



表中に記載の数値は、表示単位未満を四捨五入しています。